

# 一般教養問題

I 以下の文を読み、それぞれの問いに答えなさい。

人に教えることのできるものと、どうしても教えることのできないものがある。テレビの料理番組を見ているうちに、今更ながらつくづくとそう思った。

テレビの料理番組は、視聴者に対してまことに **A** にある料理の作り方を教えようとしている。材料、調味料の分量、煮たり焼いたりする時間、その手順、その他至れりつくせりである。その通りにすれば、われわれもテレビの画面に写し出されたのと同じ料理を作ることができそうに錯覚するし、事実またほほ似たり寄ったりのものがこしらえられるかも知れない。

しかしそれは、所謂素人料理、素人の物真似でしかあるまいと思う。私が実際にそういう料理を作ってみたというのではないから、ここところは強く言うことはできない。どの道それはどこかで玄人の作ったものとは違った料理になるにきまつている。またそうでなければ、玄人の存在理由がなくなってしまうであらう。

画面を見てみると、料理の先生はふきんで支那鍋の端を持って、ひよいと軽く左手をゆする。そうすると鍋のなかのものがひらりと裏返しになる。あの左手には少しの力も入っていない。まるで遊びごとのように鍋に左手を添えてちよいとゆする。するとなかのものがひらりと返る。実は、材料がどうのこうの調味料がどうのこうのということは、なるほど的確に人に教えられても、あの「左手でひらり」は人に教えることはできないのである。ところが、料理することの全体は、いわばそういうたくさんのちよつとした技術のうえに成り立っているのである。あの「左手でひらり」は、いつてみれば料理することの前提なのである。極端に言えば料理以前の事柄なのである。そしてそういう前提、そういう料理以前の事柄を土台にして初めて抑々料理することが可能になってくるのである。さて、その「左手でひらり」は決して人に教えることはできないのだ。そういうちよつとした技術は、永年の間に互って料理をしている間に、フライパンや支那鍋につき合っている間に、じかからだで覚えなければならぬものなのである。そして料理とは、そういう些細な、自分のからだで体得しなければならぬ技術のうえに初めて成り立っているのである。

私はもう永年の間、面白半分に自分でハムライスや炒飯を作ってきた。といつては云い過ぎで、作ろうと試みてきた。ところが左手をゆすって鍋のなかのものをひらりと裏返しにする、あれがどうしてもうまくできない。いまだに駄目なのである。ちよつと力を入れると、中のものは成程裏返しになることはなるが、鍋の手前の方までどざりと返ってきて、飯粒が外にこぼれる。力をいれなければ、中のものはひっくり返らない。どうして、支那鍋の端をふきんでつまんで、ひよい、ひらりというわけには参らぬのである。

またテレビで見ていると、料理の先生は肉などを鍋に入れてから、箸の先でちよい、ちよいと突ついて肉を鍋のなかで動かして廻す。ああいうことも、「教える」ことの中にはみ出ていることであつて、実は教えようにも教えられないのである。

話が少し大きくなるが、今日のような大衆社会における教育や伝達は、教えることのできるもの、伝達できるものはきちんと教えて伝達してくれるが、それ以前の「左手でひらり」的なこと、つまり年数をかけて自分々々で会得しなければならぬようなものに関しては、奇妙に口をつぐんでいいる。それもむりはないと思う。それは「教えられ」ないのであるから。しかしそういうものうえに初めて料理なら料理というものが乗っかけているのである。蓋しどうやら大衆社会には、時間のかかるもの、面倒なものの前を素通りしてしまうという「危険な」傾向があるらしい。

(高橋義孝『春風秋雨』より)

問1 空欄「A」に入れるべき語を、次の語群から一つ選び、符号で答えなさい。

- 語群 「a 自己満足 b 懇切丁寧 c 丁々発止 d 風光明媚」

問2 傍線部「テレビ」の普及率は、本文が執筆された一九七〇年代、一般世帯の九割以上に達している。同じ年代に九割以上の普及に達していた耐久消費財を次のa～gから四つ選び、符号で答えなさい。

- a 電気洗濯機 b ルームエアコン c 電子レンジ d 電気冷蔵庫  
e 電気掃除機 f 石油ストーブ g 空気清浄機

問3 傍線部「ひよい、ひらり」と同じ働きを担う表現として最も適切なものを、次の本文中で用いられた語句から一つ選び、符号で選びなさい。

- a ひよいひらり b ひらりひらり c ひらりひらり d ひらりひらり



問4 次の二つの事柄を説明する文を完成させるために、それぞれA～Dの語群から適切なものを一つ選び、a～cの符号で答えなさい。

1 「A」自衛権とはある国が武力攻撃を受けた場合に、同盟国など密接な関係にある他の国が自国に対する攻撃とみなし、共同して防衛にあたる権利のこと。国際連合が定めた国連憲章により加盟国に認められた自衛権の一種で、自国に対して武力攻撃が及ばない場合でも行使できる。二〇一四年七月一日、安倍内閣のもとで憲法解釈が変更され、権利の行使を容認する閣議決定がなされた。これまで日本では憲法「B」にしたがい、他国から直接加えられた攻撃に対して防衛する「C」自衛権だけが認められ、「A」自衛権をもっているが行使できないという判断がなされてきた。閣議決定を受けて、今後直接攻撃に関わる可能性がある自衛隊のあり方や、本来「D」を縛る憲法の取り扱い方を「D」自体が変えようとするなど、改めて考えなければならぬ問題が浮上している。

- A 「a 積極的                    b 個別的                    c 集团的」  
B 「a 第9条                    b 第96条                    c 第13条」  
C 「a 積極的                    b 個別的                    c 集团的」  
D 「a 国民                    b 国家                    c 企業」

2 「A」とはネットワークを活用した未来に向けた電力供給システムのことであり、次世代送電網や次世代電力網とも呼ばれている。このシステムではIT技術駆使した電力メーターなどを用い、家庭やオフィス、工場などが消費している電力量をリアルタイムに集計し、需要に応じたきめ細かな発電を行い、必要な場所へ必要な電力を無駄なく供給しようとする。もともとは停電が頻繁に起きていた「B」で導入された考え方で、送電ネットワークが比較的整っていた日本ではあまり注目されなかった。しかし「C」をきっかけにこれまでの原子力発電に依存した電力供給のあり方が問い直され、供給が不安定とされてきた風力発電や太陽光発電などの「D」エネルギーもシステムへ組み込んで活用できるため、日本の各地でも実証実験が開始されている。

- A 「a スマートグリッド                    b グリーン電力                    c スーパーハイウェイ」  
B 「a アイスランド                    b アメリカ                    c ロシア」  
C 「a 二酸化炭素削減対策                    b 異常気象による猛暑                    c 東日本大震災」  
D 「a 化石燃料                    b 再生可能                    c 省」

問5 次の1～3の語句を説明する文として適切なものを、それぞれa～cの中から一つ選び、符号で答えなさい。

1 カリグラフィ

- a 活字などの反復使用可能な媒体を適切に配列することで、印刷物における文字の体裁を整える手法。  
b 裏面から押し上げて浮かす（裏面は凹む）などの加工により、板金や紙などに文字や絵柄などを浮き彫りにする手法。  
c 西洋や中東などで用いられ、現代のフォントに影響を与えた、ペンなどの道具を用いて文字を装飾する手法。

2 フラットデザイン

- a 文化・言語の違い、年齢・性別差、障害・能力の差などにかかわらず利用できる汎用的なデザインのこと。  
b モバイル画面のボタンやメニューなどにみられる、装飾性を抑えて物理的な立体感をなくしたデザインのこと。  
c 機械による大量生産という工業化によってもたらされた機能性を重視し装飾性を排したデザインのこと。

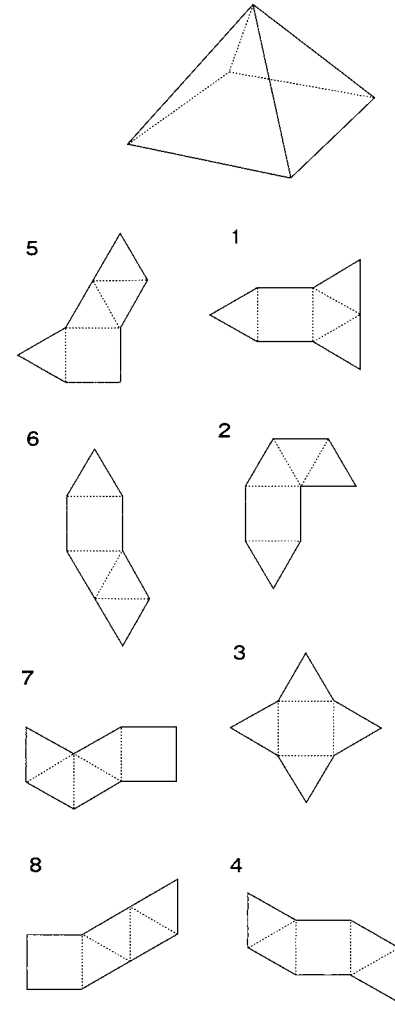
3 リノベーション

- a 既存の建物に大規模な改修工事を行い、用途や機能を変更して、性能を向上させたり付加価値を与えたりすること。  
b 障害者を含む高齢者等の社会的弱者にとって生活の支障となる物理的な障害や、精神的な障壁を取り除くこと。  
c 老朽化した建物を建築当初の性能に戻すことを主な目的として、修復のために小ささまざまな工事をおこなうこと。

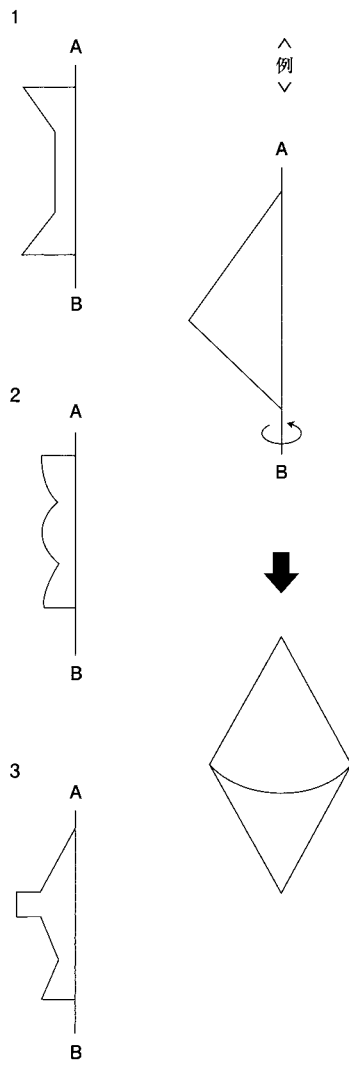


III それぞれの問いに答えなさい。

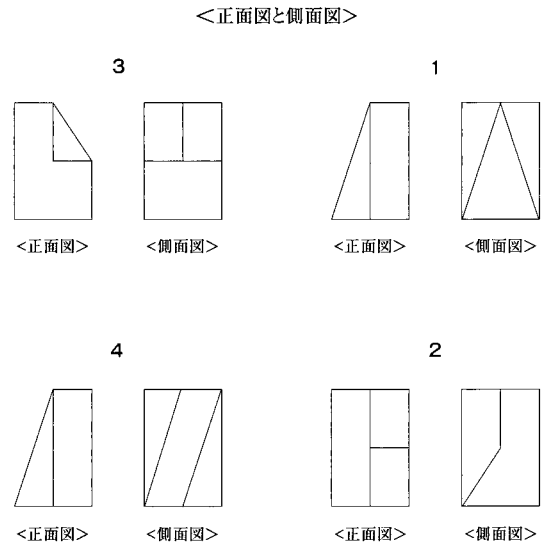
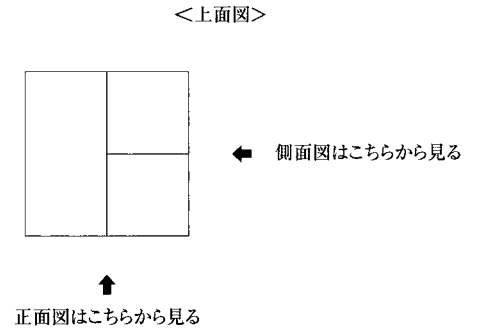
問1 左図のエジプトのピラミッドのような立体（正四角錐）の展開図として、図形1～8のなかで間違っているものを三つ、符号で答えなさい。



問2 次の1～3の図形をAからBの線を軸として回転させたときどのような立体ができるか。例を参考にフリーハンドで描きなさい。



問3 左図はある立体の上面図を示している。この上面図に対応する正面図と側面図の組合せとして間違っているものを1～4から一つ選び、符号で答えなさい。





問3

1

問2

2

3

※
---


問1 III

1
2
3

問5

1
A
B
C
D

問4

2
A
B
C
D


問3

1
2
3
4
5

問2

1
2
3
4
5

問1 II

※
---

a
b
c
d
e
f

問5


問4

問1 I


問2

問3